

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回地域保健計画推進部会				
開催日時	令和3年11月4日(木) 午後7時 ~ 午後8時45分				
開催場所	いきいきプラザ3階 マルチメディアホール				
出席者 及び欠席者	<p>●出席委員 大木幸子部会長、嶋原健二副部会長、 藤原恵子委員、細野正博委員、杉本美恵子委員、 高橋節夫委員、古瀬礼子委員、篠原雅子委員、 新井晶子委員、中野治雄委員、平島亨委員、山本しのぶ委員、 藤原幸博委員、池田みのり委員</p> <p>●欠席委員 浅谷哲也委員、桑波田悠子委員、橋本政紘委員</p> <p>(市事務局)</p> <p>【健康増進課】 津田課長、小澤課長補佐 齊藤健康寿命推進係長、久原主任保健師 菅井管理栄養士、和久井主事</p> <p>【子ども保健・給付課】 嶋田課長、八丁課長補佐、 横山主任保健師、大塚主任保健師</p> <p>【地域福祉推進課】 新井課長、羽生計画担当主査</p> <p>【保険年金課】 清水課長、幸野医療費適正化担当主査</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	1名
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 委嘱状の交付3 委員・事務局紹介4 部会長及び副部会長の選出5 報告 令和2年度実績 第5次地域福祉計画 地域保健計画指標の推移について6 議題 令和3年度地域保健計画の主な取組みについて7 その他 東村山市新型コロナウイルスワクチン接種計画について8 閉会				
問い合わせ先	健康福祉部 健康増進課 健康寿命推進係 担当者名 和久井 電話番号 042-393-5111 (内線3138) FAX番号 042-395-2131				

会 議 経 過

1 開会

2 委嘱状の交付

3 委員・事務局紹介

4 部会長及び副部会長の選出

5 報告

○健康増進課より「令和2年度実績 第5次地域福祉計画 地域保健計画指標の推移について」として、各種検診及び特定健康診査、特定保健指導の利用率等に加え、健康教育受講者数等について報告を行った。【資料 No. 2-1 参照】

【部会長】

続いて、母子の報告をお願いします。

○子ども保健・給付課より「令和2年度 地域保健計画（母子保健）実績」として、新型コロナウイルスの母子保健事業における影響等について報告を行った。【資料 No. 2-2 参照】

【部会長】

報告の内容について、いくつか質問する。

1 点目、特定健診のうち特定保健指導の利用率が動機づけ支援・積極的支援共に大幅に上昇している理由を伺う。

2 点目、自殺死亡率について、令和2年度のデータはまだ出ていないか。

3 点目、母乳育児の割合が減少したことについて、里帰りができず育児の孤独化が進んでいることが予想されるが、産後ケア事業の利用状況はいかがか。

4 点目、乳幼児健診について、3～4か月健診の未受診率が上昇しているが、未受診者のフォローアップ体制について伺う。

【健康増進課】

1 点目、特定保健指導の利用率について、医療機関での結果説明時に保健指導を実施できるようになったことで、動機づけ支援・積極的支援共に上昇したと考えられる。

【部会長】

完了率も上昇する見込みか。

【健康増進課】

完了率は分析中だが、初回利用率の上昇に伴い同じく上昇するものと考えている。

【子ども保健・給付課】

3 点目について、当市は産後ケア事業を実施していないが、産前産後サポート事業

として、妊娠中から産後6か月の間に助産師が訪問を行う「ゆりかご訪問」を実施している。

4点目について、感染症拡大の影響で集団健診を一部中止（例年、年間18回のところ4月・5月を中止し年間15回の実施）した。中止した間の対象者については、助産師及び保健師が個別にご連絡し電話訪問という形式で健診を行ったが、受診率には含めていないため、未受診率が5.1%という値になっている。

【健康増進課】

2点目の自殺死亡率について、令和2年度の数値はまだ出てない。しかし自殺者は全国的に増加傾向にある。東村山市の令和2年の自殺者数は21名であり、この数字は過去5年間で最小である。

【副部会長】

特定保健指導のうち、継続支援者の指導の外部委託について説明を求める。

【健康増進課】

特定保健指導は、令和元年度まで市の保健師および管理栄養士等により実施していたが、令和2年度より民間事業者へ外部委託を行った。その効果として、対象者とより密に連絡を取ることができ、保健指導の機会が増加することに加え、市の負担軽減にもつながると考えている。

【委員】

特定保健指導の利用人数について、地域や医療機関による差はあるか。

【健康増進課】

保健指導の地域特性があるかについて分析はできていない状況である。今後KDB等の健診情報を活用し分析を進めていきたい。

【部会長】

性別、年齢、国保加入者の分布によって地域の特性があると考え。さらに分析いただきたい。その他、委員の皆さんからご意見等あるか。

【委員】

地域とつながりたいと思っている高齢者はコロナ禍により寂しい思いをしている。

【委員】

老人クラブに加入している方々からは、下半身が弱った、もっと会話がしたいという意見が多くあった。一人暮らしのお年寄りを訪ね、チラシを配布することで元気を確認していた活動もコロナでできなかった。宣言の解除により、ようやく再開できるだろう。

【委員】

シルバー人材センターは現在70代が中心の組織となり、行う仕事が限定されてきている。今後主力となるのは清掃業務と考えている。シルバー人材センターの会員は約1,300人いるが、そのうちコロナに感染した方は1人のみであった。

【部会長】

シルバー人材センターで受けていた仕事がコロナにより減少したなどの影響はあるか。

【委員】

市からの委託が全体の6割程を占めていることに加え、昨年の秋からは学校の消毒を新たに請け負うこととなった。しかし民間からの委託は激減し、特に家事援助など一般家庭に入る仕事はほとんどなく、前年実績からいうと10%程度になった。

【部会長】

障害者の施設、事業所でも仕事が減少し様々な影響があると伺っている。

学生の卒業論文の調査の中で、感染拡大前に積極的に社会参加をしていた方ほど、通いの場等の減少により健康レベルが急激に悪化し、フレイルに陥る傾向があるという結果が出ているが、委員の皆さんはどう感じるか。

【委員】

サロン活動等に加え福祉協力員の活動が止まり、参加していた方は特に足腰の力の低下があるようだ。また、通いの場等を担い手として支えていた方々のモチベーションがかなり低下しており不安を感じている。

活動を再開する際には、周囲の目に充分配慮しなければならないと考えている。

【委員】

昨年は、体育協会の大会がほとんど中止になった。

現在はウォーキングが盛んに行われており、市で作成したウォーキングマップがさらに活用できるのではないか。

【部会長】

最近屋外でラジオ体操を行うグループが増加している。このように感染しないことと孤立しないこと、両方のリスクを考えたうえでの活動ができるとよい。

【委員】

青少年委員では育成塾を実施していたが、コロナ禍で2年間活動ができない中でガイドラインを作成し、活動再開に向けて活用していく予定である。

【部会長】

子ども達には、地域の活動に触れることで家庭や学校以外にも、地域の中で自分たちが育っていることを実感してもらいたい。

【委員】

学校ではコロナ禍で行事が行えず、子供たちにストレスがたまっているのではないかと感じている。また、朝食に関する調査を行ったところ、朝食をとってはいるものの偏った内容になっていることがわかった。さらに小中学生に肥満傾向がみられる点が非常に気になっている。

【部会長】

子ども達は生活状況が変わっていたり、運動量が変わっていたり変化が大きいと思う。

また経過を教えてください。

【委員】

民生委員は子どもと高齢者の双方と深くかかわる立場にあるが、コロナ禍でそのかわりは少なくなった。

高齢者は特に一人暮らしの方の悩みが多かったと聞いている。直接会うことはできないものの、体調不良の高齢者の情報が入った際には包括支援センターにつなげるなどした。

【部会長】

先ほど委員より、ガイドラインを作成して事業実施するというお話があったが、集まって何か行う時のガイドラインが集約・共有できるとよいと感じる。

歯周病など歯科のデータの改善に対して、口や歯の状態に満足している方の割合は減少している。口腔保健の観点からどう感じるか。

【委員】

口腔状態に関して、特に令和元年度と2年度は歯科受診の減少があったため、これによる歯周病の悪化等の懸念について歯科医師間で話題となった。学校歯科では、図画ポスターのコンクールなどを実施していますが、応募が若干減少している。

先ほどの「状態に満足している人の割合」について、食事が満足にできる点、前歯が白いという点など、何に対しての満足か一概に言えないが、満足している方の割合は増加させていきたい。

【委員】

コロナ禍で子どもたちの創作意欲の低下は感じている。

【委員】

調剤薬局の利用も減少している。緊急事態宣言中は、医師による長期間の処方により薬局を利用する患者が減少していた。コロナ禍は健常な方の精神も蝕むが、病気の方にとってはさらに辛い環境になっているだろう。

この1年半は受診控えの影響で利用者は4割減となった。

【委員】

まちも人が少なく、活気も減少していたと感じる。

【部会長】

コロナ禍でも工夫して活動している地域の取り組みや情報を、市から市民向けに広報したり、団体にもフィードバックいただけると良いと思う。

6 議題

○健康増進課より「令和3年度地域保健計画の主な取組み」として、「新型コロナウイルス感染症マメ知識」及びウォーキングマップの発行、各種検診の受診勧奨等について報告を行った。【資料 No. 3-1 参照】

【部会長】

続いて、母子の報告をお願いします。

○子ども保健・給付課より「令和3年度地域保健計画（母子保健）主な取組み」として、新型コロナウイルスの母子保健事業における令和3年度の重点事業について報告を行った。【資料No. 3－2参照】

【部会長】

健康増進課の報告にあった「新型コロナウイルス感染症マメ知識」を、通いの場を運営する際の感染予防対策マニュアルや活動の事例、さらに健診会場の感染対策等の周知に利用できると良いのではないか。また、子育て情報の掲載も良いと思う。

令和3年度、ウォーキングマップが完成したが委員の団体等で活用している事例はあるか。

【委員】

早速、恩多町の福祉協力委員会と社会福祉協議会で共催しウォーキングを実施した。参加者からも好評であった。今後もフレイル予防としてのウォーキングを実施していきたい。

【委員】

ウォーキングマップを活用したイベントがいつ実施されるかなどの情報を周知いただけると、シルバー人材センターからも案内を出すことができ、多くの人にご参加いただけるだろう。

【部会長】

ウォーキングマップはどこでもらえるのか。

【事務局】

健康増進課の窓口でお渡しできる。また、全戸配布しているため市民の方には配布できていると考えている。

7 その他

○健康増進課より、東村山市新型コロナウイルスワクチン接種計画について、資料に沿って説明を行った。【資料 東村山市新型コロナウイルスワクチン接種計画】

【部会長】

各委員、意見や質問はあるか。

【全委員】

（なし）

【健康増進課】

次回日程について年度末頃を予定している。詳しい日程は後日調整させていただく。

8 閉会